

在ブラジル日本国大使館 推薦叙勲受章者

〈邦人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
矢田 正江	78歳	連邦区 ブラジリア市	旭日単光章	日本



（主要経歴）

ブラジリア日本語普及協会理事長

ブラジリア日本語モデル校校長

（主な功績）

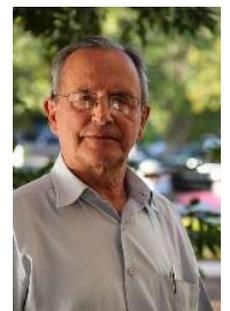
矢田氏は、1989年のブラジリア日本語普及協会の設立当初から現在まで日本語教育の第一線で活動している。JICA、国際交流基金、同協会傘下の7つの学校のほか、ブラジリア大学文学部外国語・翻訳学科日本語専攻科の教授や、「学校間言語センター（C I L : Centro Interescolar de Linguas）」の教師らと組織を横断して連携し、当地の日本語教師の資質・指導力を高めるため、新しい日本語教材の開発や教師研修を実施し、日本語教育にかかるノウハウやグッドプラクティスの共有、教師間の交流等に積極的に努めてきた。

さらに、1992年よりブラジリア日本語モデル校に勤務し、2000年からは同校の教務主任として教鞭を執ってきた。当地における国費留学生のほとんどが同校をはじめとした同協会傘下の日本語学校の出身である。彼らの多くはその後、ブラジル外務省を始めとしたブラジル政府機関や日本国大使館に勤務しており、同氏は日伯の人材交流の推進にも大きな役割を果たしてきている。これらの活動が認められ、1995年には清子内親王殿下が、2014年には安倍元総理夫人が、同校を訪問・激励している。

また、2015年、日本ブラジル外交関係樹立120周年には、各種記念事業の実施に向け卓越したリーダーシップを発揮して、日本文化祭や書道展などの開催を実現させてきた。日本国大使館が実施する在外公館文化事業や国費留学生選抜試験等に対しても積極的に協力している。

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
エリゼウ・ロベルト・デ・ア ンドラーデ・アルベス	92歳	連邦区 ブラジリア市	旭日中綬章	ブラジル



（主要経歴）

ブラジル農牧研究公社（Embrapa）元総裁

（主な功績）

アルベス氏はEMBRAPAに入社し、創設期の組織づくりへの支援を日本に仰ぎ、世界規模での食料危機・日本の安定的な食料調達に係る危機に対応すべく構想された、日伯協力事業である「セラード農業開発研究協力事業」を1977年に実現・開始した。1979年以降はEMBRAPA総裁として陣頭指揮を執り、「日伯セラード農業研究協力第2期事業」（本事業で開発された技術を各入植地に適応させるための開発、普及、発展事業）に繋げた。その成果として、世界の食料安全保障、引いては我が国への穀物の安定供給に貢献した。1990年からはEMBRAPA総裁顧問としてEMBRAPAの各総裁を補佐し、長期に渡り戦略実施支援にあたりEMBRAPAを南半球最大の農業研究機関に育て上げた。日伯間農業研究協力では、セラード向け大豆品種の開発を進めるなど、推進役として常に重要な役割を担った。

また、1991年に来日し、EMBRAPA設立及び日伯セラード農業研究事業について講演を行った。2016年にはEMBRAPA総裁顧問として、セラード農業研究及びEMBRAPA組織づくりへの日本の多大な貢献を国際協力機構（JICA）緒方貞子平和開発研究所との共著論文集（英文）に著し、我が国の国際協力の有効性を自らの経験に基づき世界に示した。学術界における著名出版社から日本の主要な国際協力の功績を示す論文を著したことにより、日本によるセラード開発に対する貢献が世界に広く知られるようになった。

在サンパウロ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
<u>カイオ・ルイス・シベラ・デ・カルヴァーリョ</u>	72歳	サンパウロ州 サンパウロ市	旭日中綬章	ブラジル
<p>(主要経歴) 元スポーツ観光大臣 ラジオ・エ・テレビザン・バンデイランテス Arte 1 社長</p> <p>(主な功績) カルバーリョ氏はメディアや観光分野において要職を歴任し、対日理解の促進や日伯間の人的交流・観光の促進に貢献した。同氏は芸術専門TVチャンネルArte 1社長として、国際交流基金の協力も得て、ドラマ「深夜食堂」シリーズの同局での放送を実現し、同放送を通じて日本文化の普及及び対日理解促進に努めた。また昭和59年の徳島県とサンパウロ州の友好県州提携締結時には同州スポーツ観光局国際部補佐として両都市友好のシンボルとしてオオハシ(トゥッカーノ)を同州から徳島県の動物園への寄贈を実現させ、人的交流・観光促進に貢献した。</p> <p>上記に加えて、昭和63年にはサンパウロ州「ブラジル日本人移民80周年」行事実行委員会コーディネーターとして、また平成20年にはサンパウロ市「ブラジル日本人移民100周年：行事実行委員会コーディネーターとして、各々、文仁親王殿下(現秋篠宮皇嗣殿下、日本人移民80周年)、皇太子殿下(現天皇陛下、日本人移民100周年)の式典ご臨席にあたり、受け入れ業務に尽力した。</p> <p>さらに、平成27年から現在に至るまで、ジャパン・ハウス サンパウロ運営委員として日本文化や日本事情の発信に貢献している。</p>				



在クリチバ日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
<u>エスペリディアン・アミン・エロウ・フィーリョ</u>	75歳	サンタカタリーナ州 フロリアノポリス市	旭日中綬章	ブラジル
<p>(主要経歴) 元 サンタカタリーナ州知事 元 連邦下院議員 現 連邦上院議員</p> <p>(主な功績) サンタカタリーナ州知事として、同州内日本人移住地におけるインフラ整備や日本の文化・社会等に関する普及・発信活動を長年にわたり支援し、日系社会の発展に大きく寄与した。計3期務めた連邦下院議員、2019年から務める上院議員としても、ブラジル日本友好議員連盟への参加や上院外交・国防委員会委員としての活動等を通じ、日伯関係の強化に様々な形で貢献している。連邦議員として首都ブラジリアを活動拠点とする間も、折を見て地元サンタカタリーナ州に戻り、州内で開催される日本文化行事に出席することで、同州の日系社会の活性化、日系社会の地位向上等にとり不可欠な存在となっている。</p>				



在マナウス日本国総領事館 推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
ニーロ・ヒグチ	71歳	アマゾナス州 マナウス市	旭日中綬章	ブラジル



(主要経歴)

現 国立アマゾン研究所 森林管理試験所主任

現 国立アマゾン研究所 熱帯林科学ポスグラ・コース教授

(主な功績)

森林の管理・保全分野の研究で世界的に著名なヒグチ氏（平成19年には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）のメンバーの一人としてノーベル平和賞を受賞）は、同分野の日伯共同プロジェクトにおいて活躍し、「ブラジル・アマゾン森林研究計画（ジャカラランダ・プロジェクト）」（平成7年～平成15年）のプロジェクト・マネージャーや「アマゾンの森林における炭素動態の広域評価」（平成22年～平成26年）の伯側共同研究代表を務め、これらのプロジェクトを通じて、日伯間のアマゾン環境分野の協力の基礎を構築した。

また、30年以上に亘り、国立アマゾン研究所の熱帯林科学コース修士課程の教授を務め、日本の大学・研究所との間の学術交流も推進しており、日本の研究機関と協力しながら、森林保全分野の後進の育成に積極的に取り組んでいる。

さらに、日伯両国間の友好親善にも取り組み、昭和57年に徳仁親王殿下（現天皇陛下）、昭和63年に文仁親王殿下（現秋篠宮皇嗣殿下）がマナウスを来訪し、国立アマゾン研究所を御視察された際には、これら御視察の準備、日系人研究者の殿下への謁見等の調整に尽力した。